

格闘ゲーム対決

文責：錦糸町民

・ゲームの概要

『ジョジョの奇妙な冒険未来への遺産 HDVer.』『修羅の門』『ヴァンパイアセイヴァー』の3種目で勝敗を競う。

【ジョジョの奇妙な冒険未来への遺産 HDVer.】

ジョジョ展やアニメ化で話題の『ジョジョの奇妙な冒険』。その第3部の格ゲーである。1999年に稼働した当ゲームが13年越しの2012年8月にPS3及びXBOX360に移植されたもの。

格ゲーとしての質が高いだけでなく、原作ファンにはお馴染みの『スタンド』も上手くゲームに取り入れたり、キャラの挙動も完成度が高かったり（例えば承太郎とDIOのラッシュ対決等も再現できる）と、キャラゲーとしてもスタッフの愛を感じる。筆者の主観だが、キャラゲーというジャンルの中で最高傑作の一つに数えてもいいと思う。

余談だが、このゲームの名前を挙げると「ペットショップ（鳥のキャラ）が強いでしょ？」とひとまず言う人が多く見受けられるが、あのキャラを使いこなすのは難しいので一般人同士の対決ならそこまで猛威をふるわない。

【修羅の門】

知る人ぞ知る伝説のゲーム。ファミ通のレビューで史上最低点数である40点満点中12点(2-3-3-4)を付けられたという曰くつき。どういう意味かは察して頂きたい。なお、原作は同名の漫画である。

ゲームの特徴を他にあえて挙げるなら、相手の手足を折る事により動きを封じる「肢体破壊技」がある。ただし、微妙にタイミングがシビアなので、初心者が手軽に決める事ができないのが欠点か。キャラの機動力が高くない事や、1コンボで与えられるダメージが致命的でない事もあり、おそらく、特殊なテクニックよりも技のリーチを把握した間合い取りといった基本的な要素の方が対戦の勝敗を分けるだろう。

【ヴァンパイアセイヴァー】

知る人ぞ知る伝説のゲーム。1997年に稼働して以来、未だに対戦が盛んな程にゲームとしての出来が素晴らしい。文字通り「10年遊べるゲーム」である。つい最近、前作の『ヴァンパイアハンター』と本作のHDリメイクの2作が収録された『Darkstalkers Resurrection』が2013年に発売と発表されたり、次回作を匂わせる発言があったりとホットな話題が出てきた。（実はこの『ヴァンパイア』シリーズは長年に渡って「続編が出る」と話題が出てるのに続編が出ない事でも有名。）

見所としてはゲームスピードの速さ、テンポの良さだろう。せわしなく動きまわるキャラクター達に是非注目して頂きたい。

ちなみに、見ている分には何か忙しそうだが、プレイしている側としては気軽に楽しむ分には高度な技術が要求される訳でもなく、簡単に面白い動きができて楽しい。もちろん、上級者を目指すのならどれほど研究してもしきれない程にやり込める。キャラ毎の個性が非常に強いが、基本システムが非常に優秀なため、格ゲーの中ではバランスが良いという長所もある。興味のある方は是非手を出してみるべきゲームだと言えよう。

カプコン作品の中でも『ヴァンパイア』シリーズは「ガードキャンセル」「アドバンスングガード」「移動起き上がり」「チェーンコンボ」等、近代格ゲーで重要とされるシステムが最初期に登場したシリーズであり、格ゲーの歴史上大きな意味を持つ作品である。

・ルール

【配点】

1 タイトルにつき 3 試合行い、1 試合で勝つごとに 10 点。

総合で勝ち越した方にはさらに 10 点が与えられる。

また、バグの使用や特定キャラクターの使用など、制約は一切設けない。

【ジョジョの奇妙な冒険未来への遺産 HDVer.】

2 ラウンド先取。細かい設定は初期状態とする。

【修羅の門】

体力ゲージ 2 本の 1 ラウンド先取。設定は全て初期状態とする。このゲームはセーブ機能が見当たらず、設定を保存する事ができないのが主な理由だ。

【ヴァンパイアセイヴァー】

『ヴァンパイア ダークストーリーコレクション』内に収録されているものを使用。バージョンはアーケードと同じものとする。コウモリ 2 匹、ターボ 3 設定。オートガード無し。その他は工場出荷時の設定に準拠する。

・プレイヤーのコメント

錦糸町民(赤組)	こんにちは。ヴァンパイアセイヴァー勢です。みんなもやろう。
瀬能透矢(白組)	3 日目の P4U 対戦会もよろしくね！